

# 新型コロナウイルスの対応について

富士ヶ丘幼稚園

## 登園時では

- ①登園と同時に石鹸での手洗いやうがいを徹底する。  
→→手洗いの方法についての指導も適切に行う。
- ②検温表を確認し、体温の異常を把握する。  
→→検温表に記載のない園児は、検温を行う。
- ③欠席者の状況を把握する。  
→→欠席理由を確実に把握する。
- ④自主登園の時は欠席連絡は必要としない。

## 保育では

- ①教室内の換気を行い、屋内の風通しを良くするために、教室内の窓は常時開けることを徹底する。  
→→雨天などで無理な場合は、1時間に1回(5分～10分)程度行う。  
(できるだけ窓と入口)
- ②トイレの後・食事の前・外から帰ったら、石鹸で手洗いやうがいを徹底する。
- ③できるだけ園児の間隔をあけ指導を行う。
- ④活動内容により、室内と園庭に分け指導を行うことも必要。  
→→当面、活動内容を工夫して取り組む。
- ⑤飛沫感染予防の観点から、マスクを着用をする。
- ⑥消毒液を使った清掃を1日1回以上行う。  
→→教室のおもちゃの消毒は降園後に行う。  
→→ドアノブ・手すり・トイレ(男子用トイレ)
- ⑦毎朝、園庭遊具の消毒を行う。  
→→園児の登園前に毎日行う。
- ⑧昼食時は、話をせずに食事をする。
- ⑨空気清浄器を使用する。(預かり保育)

## 園バスでは

- ①バスの窓を開けて運行する。  
→→全開ではなく、空気の循環ができる程度とする。
- ②座る位置を考慮し、間隔をあけ座るようにする。(座面の撤去)  
→→8名程度の定員
- ③飛沫感染予防の観点から、マスクを着用する。

## 配慮点

- ①園入り口の施錠用の鍵の消毒を行う。
- ②発熱や咳などの症状がある場合には、登園を控える。  
→→下記「重要」へ
- ③免疫力を高めるため、十分な睡眠や運動、バランスのとれた食事を心がける。→→好き嫌いをなく食べるようにする。

## クラスターを防ぐために

- ①換気を徹底する  
→→2方向の窓を同時に開ける。(天候を考慮して対応する)
- ②人の密度を下げる。  
→→できるだけ教室全体を使い指導し、園児の間隔をあける。
- ③近い距離での会話や発声は避ける。  
→→指導の妨げにならない程度で行う。

## 消毒の仕方

- ①ピューラックスのキャップ半分を1ℓの水で薄めたものを霧吹きにいれ使用する。作った日にちを記入し、三日目に使用後廃棄する。
- ②テーブル、水道の蛇口、トイレの取っ手、ドアなど園児が触るところを小まめに消毒をする。
- ③おもちゃ(プラスチック系のもの、ブロック・トミカなど)は帰りにビニールシートに並べて消毒をする。ぬいぐるみはアルコール消毒をする。

## 【重要】

- ◆発熱等の症状がみられたときは、2週間登園を控え、自宅で様子をみてください。
- ◆新型コロナウイルスに、本人・家族に感染が確認されたときには、1ヶ月間登園を避け、登園する場合は、医師の指示に従ってください。

